

環境技術実証モデル事業（小規模事業場向け有機性排水処理技術分野）  
における実証対象技術の選定について

## 1 趣旨

環境技術実証モデル事業の小規模事業場向け有機性排水処理技術分野について、平成15年度の実証対象技術を選定した。

## 2 選定技術の概要

- 平成15年10月8日(水)から10月21日(火)まで実証対象技術の募集を行ったところ、7件の申請があった。
- 広島県技術実証委員会（委員長：岡田光正広島大学教授）を設置し、形式的要件や実証可能性を検討するとともに、技術の先進性や環境保全効果等を検討し、さらに環境省と協議の上、実証対象技術2件を選定した。

## 《実証対象技術》

技術の概要	開発者
浮上油等の自動回収処理システム	広和エムテック株式会社 (福山市引野町5-15-9)
活性汚泥併用接触ばっ気法	株式会社アクアメイク (広島市安佐南区大塚西3-3-45-814)

注 詳細は別紙1のとおり

## 3 環境技術実証モデル事業について

## (1) 事業の概要

- 既に適用可能な段階にある先進的な環境保全技術でも、客観的な評価がないことにより普及の進んでいない状況がみられる。
- このため、環境省では、このような環境保全技術について、環境保全効果等を客観的に実証することにより、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展を促進することを目的としたモデル事業を、新たに今年度から実施している。
- 本県は、実証機関として環境省から選定され、小規模事業場向け有機性排水処理技術分野について、技術実証を実施する。
- また、実証した技術については、積極的に実証結果を公表する。

## (2) 今後の予定

時期	内容
11月下旬	環境省の実証試験要領に基づき、実証試験計画を策定
12月～2月	実証試験計画に基づき、実証試験を実施
3月	実証試験結果報告書を作成 環境省ホームページや本県の環境ホームページ等で報告書を公表

## 4 その他

本件については、環境省が別紙2のとおり資料提供を行うこととしている。(省略)

実証対象技術の概要（広島県）

技術の概要 開発者名	技術の内容	フロー図
浮上油等の自動回収 処理システム  広和エムテック 株式会社	<p>この技術は、厨房用グリストラップ内の浮上油及び沈殿残さを排水の一部と共にポンプにより自動回収し、ろ材へ吸着させたのち微生物を用いて装置内で発酵・分解処理を行い、グリストラップ内へ排水と共に戻し厨房排水の浄化を行うものである。独自に開発した浮上油吸込機構は小型・シンプルながら浮上油のみを効率よく回収し、設置後も調整の不要な表層液吸引装置である。このシステムを採用した技術は小型ながら効率よく油を回収し、油の分解能力に優れた微生物製剤との併用によりグリストラップの浄化を行う。</p>	<p>フロー図</p> <p>厨房・食堂排水</p> <p>浮上油</p> <p>沈殿残さ</p> <p>ポンプ回収</p> <p>微生物による発酵・分解処理</p> <p>処理水</p> <p>放流</p> <p>グリストラップ</p>
活性汚泥併用接 触ばっ気法  株式会社 アクアメイク	<p>この技術は、厨房・食堂排水のみの処理が目的の接触ばっ気槽を主体としたものである。沈殿槽から汚泥を接触ばっ気槽に返送することにより、安定した処理が行われ、さらに汚泥発生量も従来法より抑制改善される。また、汚泥貯留槽から汚泥を流量調整槽に返送し、流量調整槽で臭気の発生が抑制される。このように、接触ばっ気槽等への活性汚泥の効果的な併用により、処理性能の安定維持、余剰汚泥の発生を低減、流量調整槽で臭気発生を抑制を行えること、この3点が特徴である。</p>	<p>厨房・食堂排水</p> <p>原水ポンプ槽</p> <p>流量調整槽</p> <p>接触ばっ気槽</p> <p>沈殿槽</p> <p>汚泥濃縮貯留槽</p> <p>放流</p>